

国立大学法人大阪大学が発行するサステナビリティボンド 『大阪大学 生きがいを育む社会創造債』への投資について

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、国立大学法人大阪大学（以下「大阪大学」という）が発行するサステナビリティボンド『第1回国立大学法人大阪大学債券』（以下「本債券」）への投資を行いましたのでお知らせします。

<本債券発行の背景>

大阪大学は、我が国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最先端の学術研究の成果を社会に還元し続けています。本債券への投資資金は大阪大学の中長期的なプランである「OU マスタープラン 2027」のもとで実施するキャンパス等の改修・更新及び先端的な教育研究の整備に充当され、社会との共創を通じて「生きがいを育む社会の創造^{注1)}」の実現に繋がります。

本債券への投資は、「すべての人々へ包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する」、「強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る」、「都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

2022年3月、本債券発行のための枠組みであるサステナビリティボンド・フレームワークは、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するサステナビリティボンドガイドライン 2021等に適合する旨、日本格付研究所(JCR)より最上位評価であるSU1(F)を取得しています。

注1) 大阪大学で育まれる「知性」、「英知」を結集して、科学技術・学術、医療制度、経済システム、企業等の組織、コミュニティ、個人の生活や価値観等を抜本的に転換する新たな社会の仕組みを創り出すことで、個々人が社会で活躍できる寿命を延伸させ、あらゆる世代がその多様性を活かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会を実現すること。

【債券概要】

債券名称	第1回国立大学法人大阪大学債券
発行総額	300億円
償還期間	40年
対応する持続可能な開発目標（SDGs）	  

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、今後も ESG 投融資を一層推進してまいります。

以 上